

平成22年 7月30日

お知らせ

資料提供先：岡山県政記者クラブ
倉敷市役所記者クラブ



国土交通省

8月1日より高梁川水系新成羽川ダムの貯水位が低下します。 <節水にご協力を！>

新成羽川ダム（中国電力㈱）は、取水口スクリーン取替工事に伴い8月1日から10月20日にかけて貯水位を230mから180mに約50m（貯水量：5,620万m³）低下するため、利水容量がゼロになります。新成羽川ダムは、高梁川水系のダムの利水容量の約6割を占めるため、水位低下後は気象状況にもよりますが、渇水の危険性が懸念されます。

このため、高梁川水利用協議会（事務局：岡山河川事務所）では、各利水者と、情報を共有すると共に水系全体の水需給の影響を小さくするために、新成羽川ダムの貯水位低下期間中の主要5ダム（千屋ダム・河本ダム・高瀬川ダム・三室川ダム・小阪部川ダム）については、放流調整を行い極力貯水位を確保するように調整していきます。

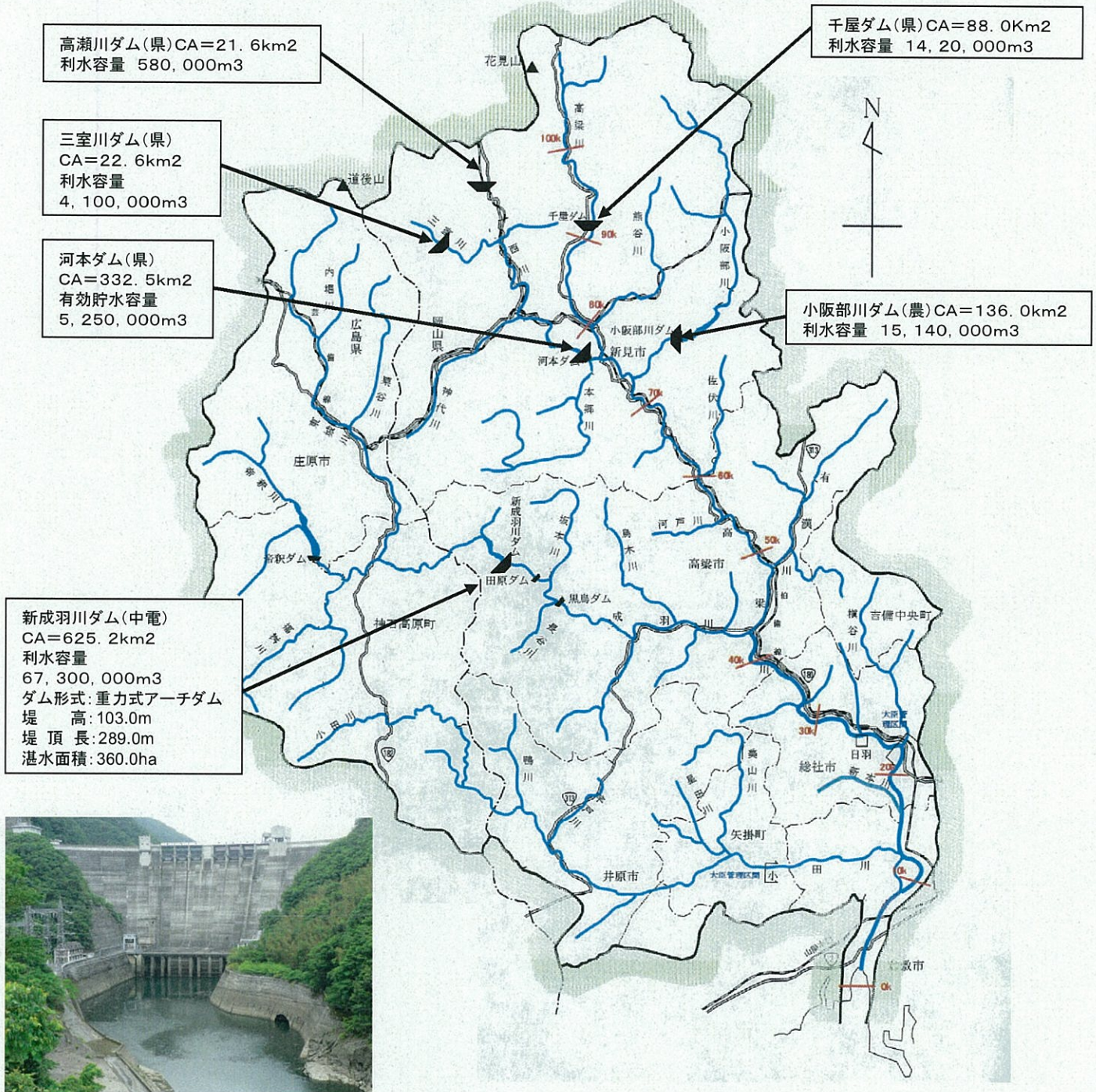
また、新成羽川ダムの取水口スクリーン取替工事の工期短縮と早い貯水位回復に向けて調整を行うとともに貯水状況との情報提供に努めてまいりますので、節水へのご協力をお願いします。

日々のダム貯水量については、岡山河川事務所ホームページ（<http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/>）で公開しています。

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所
電話 086-223-5194（管理第一課直通）
副所長(技術) 植田 憲治（内線205）
管理第一課長 長畑 利彦（内線331）
専門職 中野 勝久（内線330）

位置図



高梁川水系の主要ダムの貯水状況

速報値

高梁川水系 主要ダム貯水量

(平成22年7月30日 午前9時現在)

ダム名	利水容量(万m3)	貯水量(万m3)	※貯水率(%)	前日との増減(万m3)	備考
千屋ダム	1,420	1,393	98.1	0	6つのダムの 貯水率は 83.3 %です。 前日の流域平均降水量は 1.6 mmです。
河本ダム	525	447	85.1	-3	
高瀬川ダム	58	60	102.8	-1	
三室川ダム	410	402	98.1	-2	
小阪部川ダム	1,514	1,326	87.6	3	
新成羽川ダム	6,730	5,624	83.6	-50	
計	10,657	9,251	86.8	-53 (-0.5%)	

※ 貯水率は洪水期利水容量に対する貯水量の比率

<参考資料>

【水利用協議会とは】

岡山三川（吉井川・旭川・高梁川）では、安定的、継続的な水の供給を可能にするため、河川管理者と水利用者の間で河川情報や水利用情報等の共有化を図り、平常時から情報交換や意見交換が行える場を提供するとともに、渇水時には、関係機関相互に協力して水利用の調整を図ることを目的として水利用協議会が設立されています。

吉井川水系 平成17年6月23日設立（26機関で構成）

旭川水系 平成18年7月24日設立（16機関で構成）

高梁川水系 平成19年7月24日設立（25機関で構成）

（会長はいずれも、国土交通省岡山河川事務所長）

水利用協議会では、雨量、河川流量、ダム貯水量の状況や今後の見通し、取水量の状況等について情報交換、意見交換等を定期的に行うほか、渇水時あるいは渇水が予想される場合等には、渇水調整会議を開催し、取水制限等の対応について協議します。



高梁川水系水利用協議会
（平成22年5月25日開催）